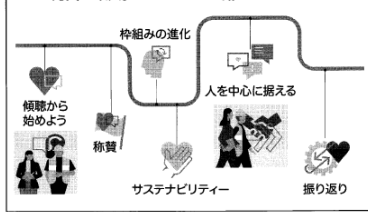


シーメンス、意識の転換



シーメンス 安全担当副社長
Andrea S. Hernandez
ブラジル出身。EHS(環境・健康・安全)分野で20年以上の実績を持つ。電力・製薬など多様な業界を経て、シーメンスでは安全・品質・環境・衛生管理に15年以上従事。現在はドイツを拠点に、安全担当副社長を務める。

図1 コンプライアンスから文化へ 現代の職場における安全衛生の進化



「コンプライアンスから文化へ」職場の安全衛生の進化。世界が「働き方」の未来に開く議論が変化し、企業は持続的成長は、財務的成長やESG(環境・社会・ガバナンス)の両方を満たさなければならない。従事者大がかりに「安全」が問われてきた。企業文化がそれを変えてきた。

近年、静かに蓄積的な変化が進行した。職場の安全を「事故防止」に限った狭義の概念としてではなく、心身の健康や社会的責任を含めた、包括的な安全プロトコルへ移行しつつある。

本稿では、シーメンスの取り組みを振り返り、安全と健康の両方に注目を集める日本の後進者に目を向けて話を交わす。

「意識が変化した。ゼロ・ハーム」への歩み
シーメンスが「ゼロ・ハーム」を掲げたのは2010年。当初は「職場のケガゼロ」という目標について、巨大で複雑なグローバル組織で本気で達成可能なかと懐疑的な見方があった。

「意識が変化した。ゼロ・ハーム」への歩み
シーメンスが「ゼロ・ハーム」を掲げたのは2010年。当初は「職場のケガゼロ」という目標について、巨大で複雑なグローバル組織で本気で達成可能なかと懐疑的な見方があった。

努力や学び自体を「称賛」

「文化を育む」称賛」の力
この取り組みは決して完璧なものでなく、努力や学び自体を「称賛」する文化へ変革。14年に「Zero Harm Culture」@Siemens「Healthy @Siemens」@Siemensを掲げた。安全衛生の成果を評価し、全員が当事者として意識の醸成を図った。20年時、Zero Harm Culture @Siemensは34カ国、20万人に広がった。Healthy @Siemensは46カ国に広がり、全従業員の95%をカバーした。

「互いを思いやる」安全文化を醸成し、この理念は、画一的なグローバル展開ではなく、地域別チームと直接関わってプロジェクトを始めることになった。ここからはどんなリスクがあるか、どのような文化や組織的な慣習が関係するか、従業員が信頼し、継続できる仕組みは何か、に開いて対話が始まった。

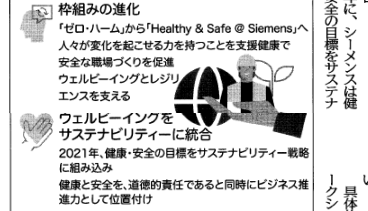
得られた最初の教訓は明快で、安全衛生の前進は「管理」ではなく「傾聴」から始まるべきだった。

働く人の安全・健康・ウェルビーイング

安全衛生、全員が当事者

サステナに組み込み経営の中心に

図3 これまでの歩みと、そしてこれからの進む先



「ゼロ・ハーム」から「Healthy & Safe @ Siemens」へ
人々が変化を起こせる力を持つことを支援健康で安全な職場づくりを促進
ウェルビーイングとレジリエンスを支える

「ゼロ・ハーム」から「Healthy & Safe @ Siemens」へ
人々が変化を起こせる力を持つことを支援健康で安全な職場づくりを促進
ウェルビーイングとレジリエンスを支える

図2 これまでの歩みとその成果

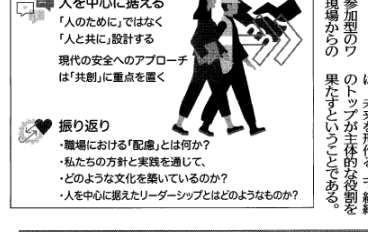


現場の声通し対話重ねる

「現場の声通し対話重ねる」
安全と健康を推進する上で、現場の従業員は不可欠な存在である。安全への取り組みは、現場の従業員が主体的に力を発揮できる場を創り出すことが重要である。

「現場の声通し対話重ねる」
安全と健康を推進する上で、現場の従業員は不可欠な存在である。安全への取り組みは、現場の従業員が主体的に力を発揮できる場を創り出すことが重要である。

図4 現在、私たちはどこにいるのか？

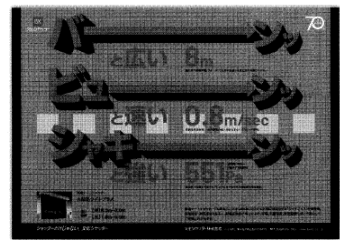


「現場の声通し対話重ねる」
安全と健康を推進する上で、現場の従業員は不可欠な存在である。安全への取り組みは、現場の従業員が主体的に力を発揮できる場を創り出すことが重要である。

2025年 日本産業広告賞作品集

発売中

日刊工業新聞広告大賞



雑誌部門 第1席



新聞部門 シリーズ広告賞 第1席



情報誌部門 第1席

入賞作品収録

●新聞部門 18作品 ●雑誌部門 6作品 ●情報誌部門 5作品

専門審査委員の選評掲載

- 嶋村和志 審査委員長 (早稲田大学 教授)
- 谷山雅計 審査委員 (東京コピーライターズクラブ会長)
- 石崎徹 審査委員 (専修大学 教授)
- 芳賀康浩 審査委員 (青山学院大学 教授)
- 福島治 審査委員 (東京工芸大学 名誉教授)

●お問い合わせは 〒1103-8548 東京都中央区日本橋小町14-1
日刊工業新聞社メディア事業局 日本産業広告賞事務局
tel 03-5644-7353

産業広告の頂点…。

お申込み・お問い合わせはEメール (btob-ad@media.nikkan.co.jp)へ ※FAXでも承ります

お申込みは FAXで 03-5644-7300

| | | |
|---------------|------|-------|
| 作品集申込書 | フリガナ | () 冊 |
| 氏名 | | |
| 勤務先 | | 所属 |
| 〒 | | |
| 送り先住所 | | |
| TEL () - () | | |
| FAX () - () | | |

TEL () - ()
FAX () - ()

フルカラー頒価 4,400円(税込み)送料別